

## 【防災減災】に関する教職員対象の研修（8/27）

8月27日（火）に諫早東高校で教職員対象の【防災に関する職員研修】を実施しました。当日は、長崎地方気象台から講師をお迎えし、大雨災害の注意報が出された際の段階に応じた学校の対応や行動について、グループで話し合いました。また、本研修には近隣の小中学校や関係機関からのご参加もあり、児童生徒の安全をどう確保するのかについて、色々な立場から活発な意見交換ができました。

奇しくも、長崎県内は台風10号が接近していた時でしたので、どのようなタイミングでどのような判断をして生徒と自分の命を守るのかを、現実的な問題として教職員全体で考える機会となりました。

今後は、災害が起こりそうな時（起こった時）の判断だけでなく、事前に備えられるコトやモノについても整備を進めていこうと考えています。



警戒レベルと避難行動の関係を学びました。



このグループは、「裏側に山がある学校」という条件でした。判断のタイミングに、それぞれの意見が分かれます。



NIB ホームページより

生徒を帰宅させる際の連絡事項や、その後の連絡手段についても考えておく必要があります。また、学校から自宅までのルートに氾濫の恐れのある川があることも考えられます。場合によっては保護者連絡や直接引き渡すということもあり得ます。